

# 令和2年度 第1回かほく市創生総合戦略 推進計画事業に係る外部評価委員会会議録

令和2年9月2日(水) 10:00～  
かほく市役所 2階 議会委員会室

## 次 第

1. 開会
2. あいさつ
3. 議事
  - ①第1期かほく市創生総合戦略推進計画の評価結果等について
  - ②第2期かほく市創生総合戦略推進計画の改訂について
4. 事務連絡
5. 閉会

## ○外部評価委員

	職	氏 名	選出組織・団体	種別	出欠
1	委員長	丸岡 直子	石川県立看護大学	学会	出席
2	副委員長	南 春夫	かほく市商工会	産業界	出席
3	委員	山本 茂正	かほく市町会区長会連合会	市民代表	出席
4	委員	中谷 良子	かほく市女性協議会	女性	出席
5	委員	村井 一宏	石川かほく農業協同組合	農業団体	欠席
6	委員	小西 利之	(株)北國銀行	金融界	出席
7	委員	徳本 喜彰	(株)PFU(労働組合)	労働団体	出席

## ○事務局

虎谷総務部長、千田企画情報課長、荒井補佐、沖野係長

## 主な説明及び発言の要旨

### 議事①第1期かほく市創生総合戦略推進計画の評価結果等について

#### 【事務局説明】

◆第1期かほく市創生総合戦略推進計画事業成果状況

(資料1 P1 及び別紙資料1-① P1～2 にて説明。)

平成27年度から始まった第1期総合戦略は、令和元年度を以って5年間の計画期間を終えた。そこで、今年度の会議は第1期全体における事業成果についての評価を頂くこととなる。

第1期における計画事業数は全部で50あり、それぞれに目標値（KPI）を定めている。これまでと同様達成率が80%以上となったものを「達成」として評価するが、目標値が2つ設定されているものについては、いずれか1つでも達成率が80%に達していなければ「未達成」としている。

その上で第1期全体での達成度をみると、全50事業のうち「達成」となったものは40事業、「未達成」となったものは10事業となり、第1期全体における目標値の達成割合は80%となった。

※以降、各事業の達成状況について、市の取り組み方針を含め説明。

#### ◆かほく市創生総合戦略推進計画の施策体系別状況

（資料1 P2 にて説明。）

第1期総合戦略は5つの基本目標から成り立っており、基本目標ごとのKPI達成度を見ると、

1. 地方における安定した雇用を創出する・・・目標値達成度 57.1%
  2. 地方への新しいひとの流れをつくる・・・目標値達成度 90.0%
  3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる・・・目標値達成度 88.2%
  4. 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する・・・目標値達成度 81.8%
  5. かほくオンリーワンの資源を積極的に活用し、活性化の拠点をつくる・・・目標値達成度 60.0%
- となり、全体としては先程の説明のとおり、80%の達成度となる。

#### ◆かほく市創生総合戦略推進計画の事業別執行額

（資料1 P3 にて説明。）

令和元年度における計画事業全体での事業費決算額は 1,174,682 千円であり、過去4年間の事業費についても、ほぼ同規模で大きな変動はない。

#### ◆令和元年度末かほく市人口ビジョンの状況について

（資料1 P4～5 及び別紙資料1-③～⑥ にて説明。）

※別紙資料参照。

#### 【委員からの意見】

○若者の定住促進はうまくいっている印象だが、働く場所が課題となっている。新型コロナの影響もあるが、民間企業とのタイアップなどを通じ、企業マッチングに取り組んで行く必要がある。

○農産物ブランド化事業について、ブランド品目は多いと思うが、加工品を作る団体数はなぜ増

**えないのか？**

⇒加工する手間や機材及び人材の確保など、課題が多いことや、製造メーカー側とのマッチングも難しいと聞いている。しかしながら今後も継続して支援し、ブランド力向上に向け取り組んで行く方針である。

**○外国語活動について、未達成の原因は何か？対処法は検討されているか。**

⇒KPIが中学校3年生の学力調査の結果が市内3中学校全校で県平均を上回ることとされている。今回1校が上回ることができなかったが、学校の教務主任を中心にチェックを行い、課題を把握しており、対応はしっかりとっている。

**○道の駅高松で先日農協と協力イベントを実施した。新型コロナの影響はあるが、外でのイベントについては、各種団体と連携してやっていければと思っている。**

**○ICTまちづくりについて、決算が毎年度0円であるが？**

⇒個別のWi-Fi設備の設置ということで執行額が0円となっているが、公共施設等のハード整備に合わせてWi-Fi整備を行う方針である。今後も施設整備の予算に含めて執行していく。

**○人口増に伴い、新たな課題が出ている。子どもの成長過程に市の施策が追いついているかを見ていく必要がある。**

議事②第2期かほく市創生総合戦略推進計画の改訂について

【事務局説明】

(資料3にて説明。)

第2期総合戦略は今年度が初年度であり、現在鋭意取り組んでいるところではあるが、今般のコロナ禍による感染症対策等は避けて通れない課題であり、市の各種施策展開にも大きな影響を及ぼしている。

そのため、現行の第2期総合戦略に新たに取り入れた各基本目標すべてに関連する横断的目標に、「新しい生活様式を実現する」を加え、感染症対策はもとより、このような状況によって生じた新たなニーズや、デジタル化の急速な進展などの変化を積極的に施策に取り入れることとした。

改訂は横断的目標の追加だけでなく、個別の具体的施策に関しても行っており、全部で35ある具体的施策のうち、12施策において今回の改訂に伴う追加等が行われている。

【委員からの意見】

**○企業誘致について、新型コロナの影響により、東京一極集中から地方への移転が進むことが予想される。積極的に環境を整備していく必要があると考える。**

- IT化による生産性向上などの取り組みについて、民間と連携して進めて頂きたい。
- 企業ではテレワークの導入が進んでいるが、自宅でテレワークを実施する際の問題点として、ネットワーク環境が必要となる。自宅以外でも業務可能となるような環境の整備を検討してはどうか。
- 工場勤務の方などはテレワークできない。できない業種も当然あるので、予防対策等に係る相談窓口等を設置して情報共有するなど支援できないか。
- 安心して暮らせるかほく市をつくるということについては、健康と生きがいがづくりが非常に重要である。
- かほく市にあるオンリーワンの資源を活かし、全国に情報発信をしてほしい。
- 子どもの教育環境の向上が必要。共働きの親が多く、学童の利用者も増え、家で留守番をする子どもも増えている。子どもの居場所づくりをしなければならない。
- 南部交流ゾーンはイオンを中心に充実しているが、北部交流ゾーンは看護大学、道の駅高松がある。その周辺にレクリエーション施設があればいいと思う。看護大学と連携し、学生も取り込んだ事業展開を図ればどうか。
- 横断的目標を追加したとのことであり、3密対策、感染防止策について全面に出したほうがいいのではないか。新型コロナの影響により、地域活動が低下している。コロナに配慮しながら活動する実践例が今後出てくると思うので、参考にしてほしい。

以 上